



2012年3月期 第2四半期決算について

2011年11月9日

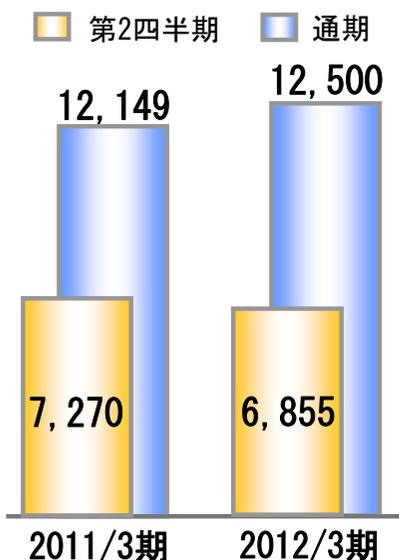
本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

連結営業利益

(億円)



■ 営業収益は、2期連続の増収、5兆円を回復
営業利益は、堅調に進捗

■ 年間利益目標を1.25兆円へ上方修正

● 移動体事業の好調

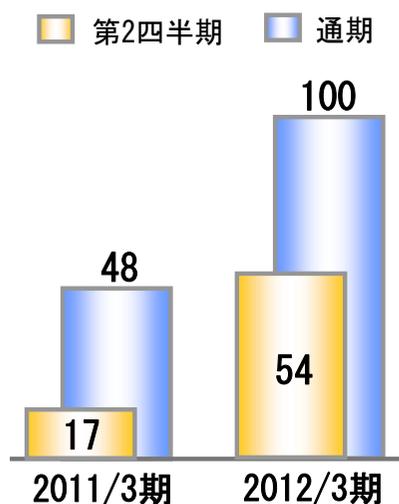
- スマートフォン販売台数：363万台、年間目標を850万台に上方修正
- パケットARPUの向上：対前期+150円、年間目標を2,700円に上方修正

● グローバル事業の売上拡大

- 54億USドル、前年同期比3倍
- 年間目標 100億USドルを1年前倒し

グローバル事業売上

(億USD)



■ 株主還元の充実

- 5,800万株、2,200億円の自己株式取得(1回目)を実施
- 1億2,500万株の金庫株消却及び上限4,400万株の自己株式取得(2回目)を決議
- 今期EPSは大幅改善の見込(425.48円、対前期末比+10.5%)

2012年3月期第2四半期 連結決算の概況



- 2期連続の増収で5兆円を回復。
- 営業利益は、堅調に進捗。

(単位：億円)

	2012年3月期 第2四半期実績			2011年3月期 第2四半期実績	2012年3月期 通期業績予想 (当初)	2012年3月期 第2四半期実績 進捗率
		対前年同期増減額	対前年同期増減率			
営業収益	51,546	+1,555	+3.1%	49,991	105,400	48.9%
営業費用	44,691	+1,970	+4.6%	42,721	93,000	48.1%
営業利益	6,855	▲415	▲5.7%	7,270	12,400	55.3%
四半期(当期) 純利益 ※	2,964	▲188	▲6.0%	3,152	5,400	54.9%

※四半期(当期)純利益は、当社に帰属する四半期(当期)純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

2012年3月期 通期業績予想の見直し

- 連結営業利益の目標を上方修正。（対当初業績予想+100億円；1兆2,500億円）
- 連結営業収益は当初計画を維持。

(単位：億円)

	NTT連結 ＜米国基準＞		NTT東日本 ＜日本基準・単独＞		NTT西日本 ＜日本基準・単独＞		NTTコミュニケーションズ ＜日本基準・単独＞		NTTデータ ＜日本基準・連結＞		NTTドコモ ＜米国基準・連結＞	
	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額	通期業績予想 (見直し後)	対当初増減額
営業収益	105,400	0	18,950	▲ 50	16,870	▲ 170	10,030	▲ 100	12,000	0	42,400	+100
営業費用	92,900	▲ 100	18,250	▲ 50	16,320	▲ 170	9,080	▲ 180	11,200	0	33,700	▲ 100
営業利益	12,500	+100	700	0	550	0	950	+80	800	0	8,700	+200
四半期(当期) 純利益 ※	5,450	+50	470	+30	490	0	610	+40	390	0	5,140	+120

※四半期（当期）純利益は、当社に帰属する四半期（当期）純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

- 連結の第2四半期実績は、損益200億円、設備投資80億円。
- 通期業績予想は、当初想定通りとなる損益約300億円、設備投資約300億円を見込む。

(単位：億円)

	2012年3月期 通期業績予想（見直し後）				2012年3月期 第2四半期実績		2012年3月期 通期業績予想（当初）		
	損益	対当初増減額		設備投資	対当初増減額	損益	設備投資	損益	設備投資
東日本	約180	※ ▲20	約250	+50	90	60	約200	約200	
ドコモ	約100	—	約50	▲50	90	10	約100	約100	
その他	約20	+20	—	—	20	—	—	—	
NTT連結	約300	—	約300	—	200	80	約300	約300	

※ 基本料等の減収影響拡大分+30億円、特別損益の減少分▲50億円

ブロードバンド・サービスの進展

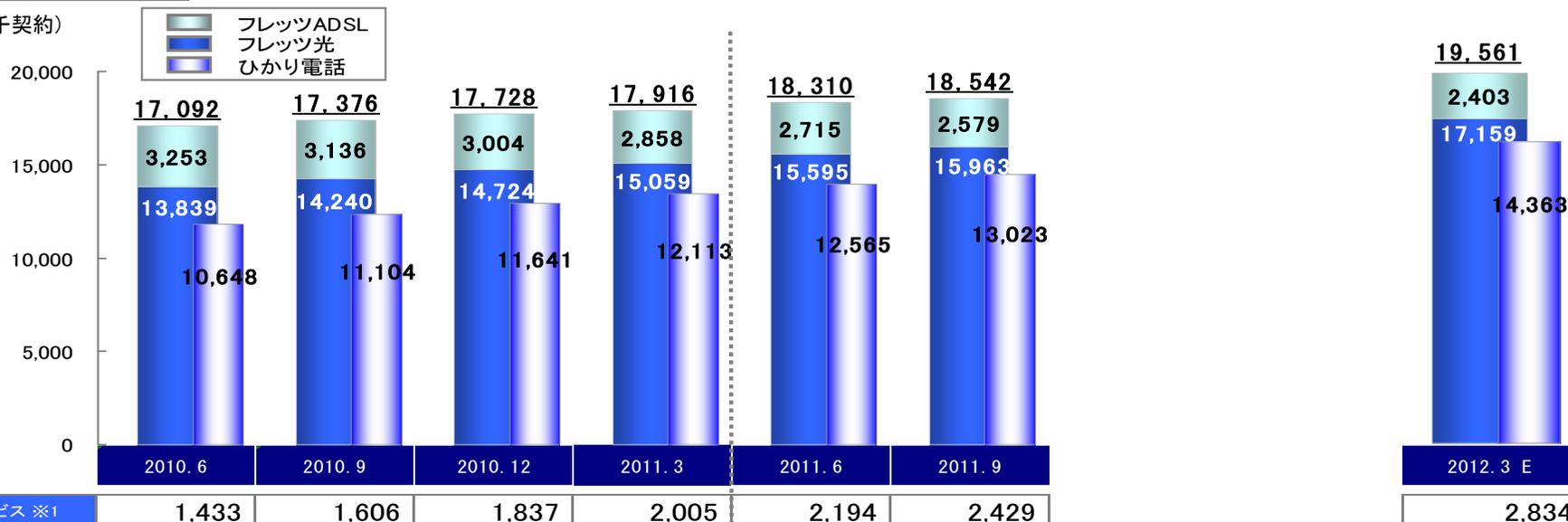
固定ブロードバンドの契約数



フレッツ光ライトプランやWi-Fi化の推進等による新規ユーザの獲得や解約抑止に向けた取組み等により、年間計画の達成を目指す。

契約数

(単位:千契約)



対前四半期別純増(減)数

	2011.3期				2012.3期			2011.3期 通期実績	2012.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	上期計		
フレッツ 光 ※2	588	401	484	335	536	368	904	1,808	2,100
開通数 ※3	1,018	809	897	849	1,019	874	1,894	3,573	4,100
フレッツADSL	▲ 129	▲ 117	▲ 132	▲ 147	▲ 142	▲ 136	▲ 279	▲ 524	▲ 455
ひかり電話 ※4	506	457	537	472	453	457	910	1,971	2,250

※1. 光映像サービスは、ひかりTVとフレッツ・テレビの契約数を合わせて記載しております。

※2. フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含めて記載しております。

※3. 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※4. ひかり電話は、チャンネル数(単位:千)を記載しております。

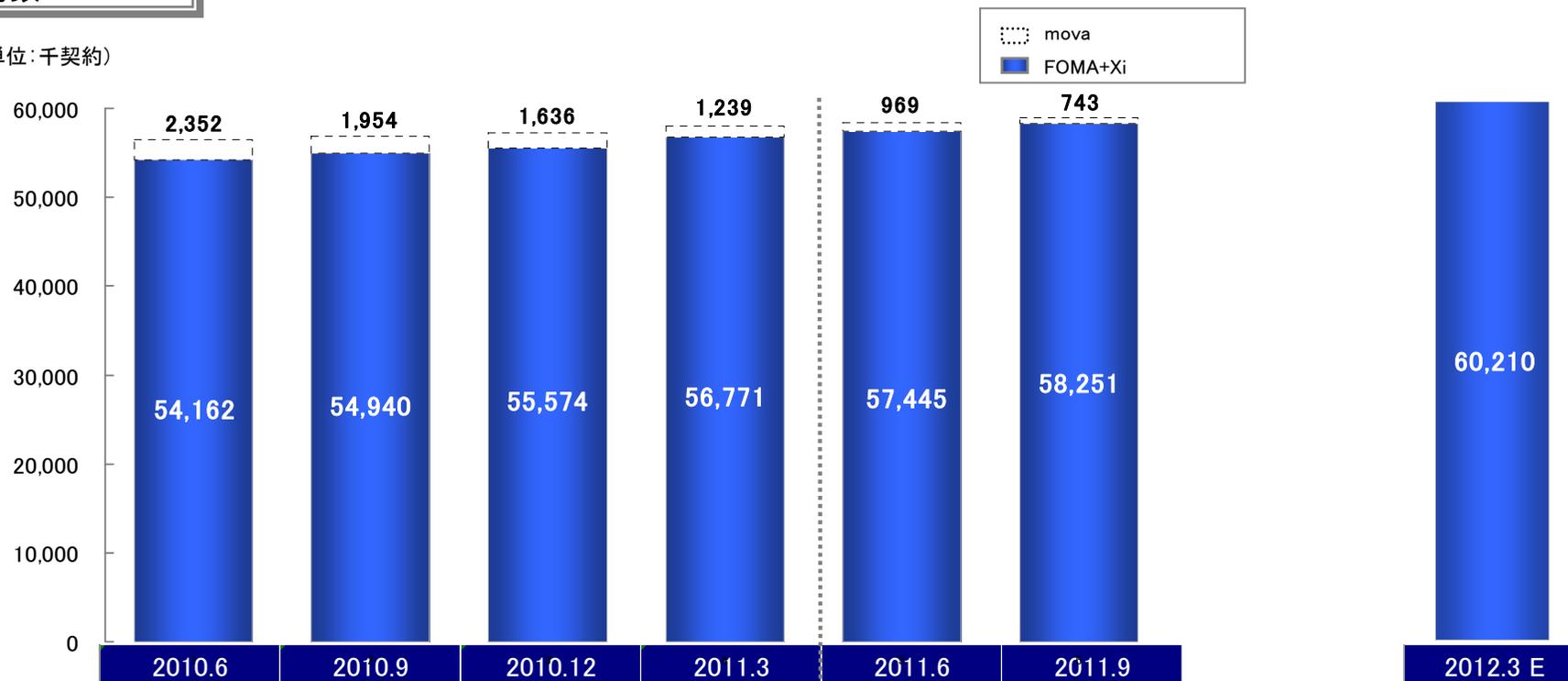
移動ブロードバンドの契約数



スマートフォンの販売強化やお客様満足度の更なる向上等の取組みにより、年間計画の達成を目指す。

契約数

(単位:千契約)



対前四半期別純増数

	2011.3期				2012.3期		2011.3期 通期実績	2012.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9		
FOMA+Xi	959	778	633	1,197	674	805	3,568	3,440
mova	▲ 526	▲ 398	▲ 318	▲ 398	▲ 269	▲ 227	▲ 1,640	▲ 1,240

上期純増983千契約 (2012.3期 7-9)

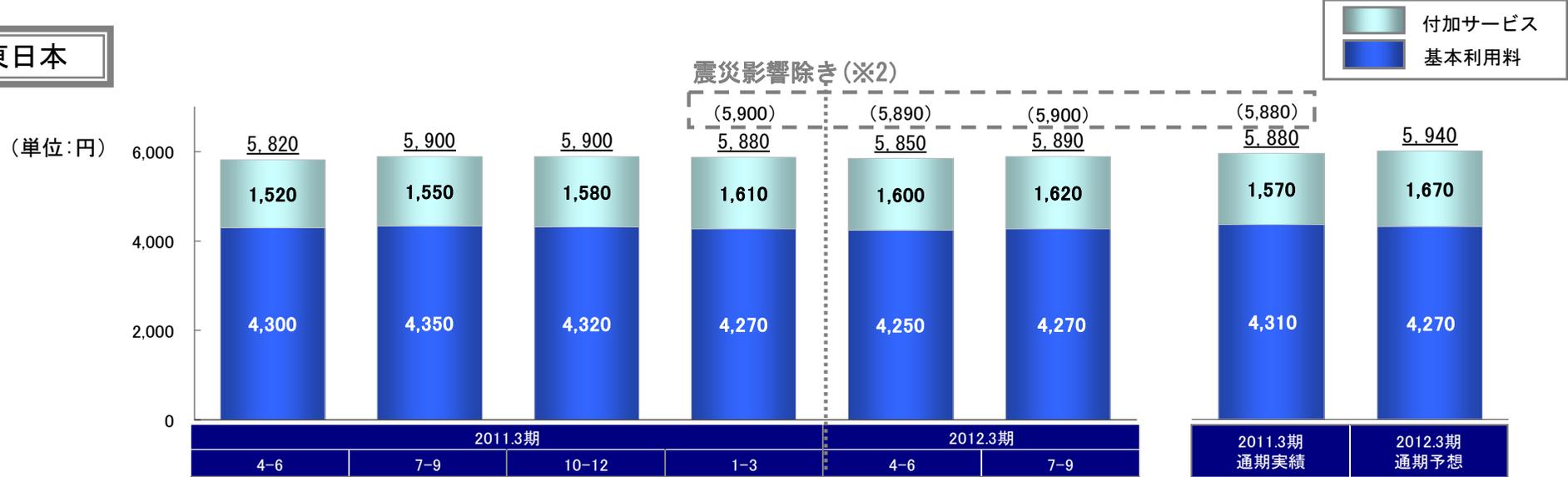
※通信モジュールサービス契約数は移動ブロードバンド契約数に含めて記載しております

固定ブロードバンド（フレッツ光）のARPU

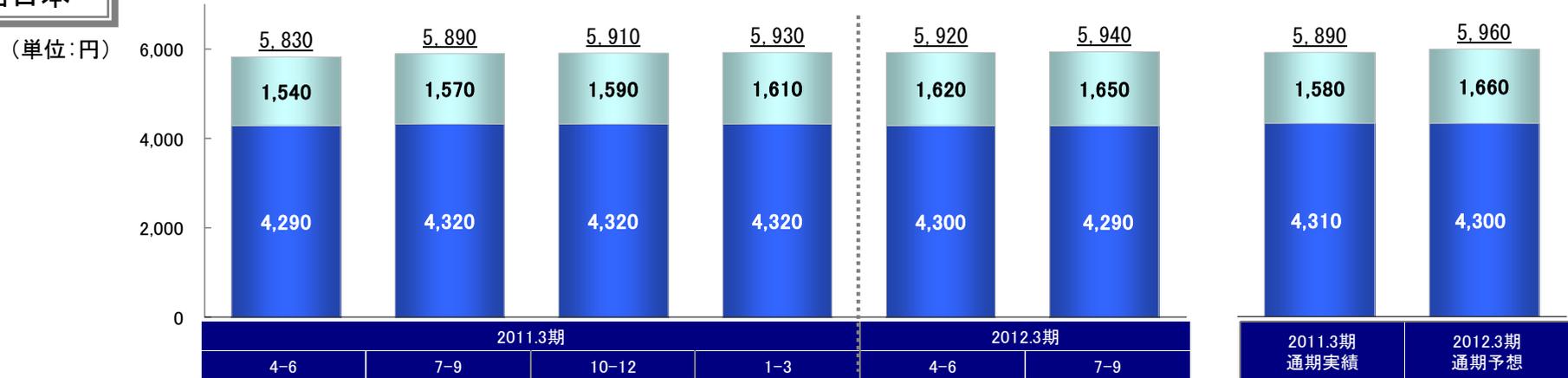


引き続きひかり電話等付加サービスのセット販売や新たな利用シーンの創出に取り組み、ARPUの向上に努めていく。

東日本



西日本



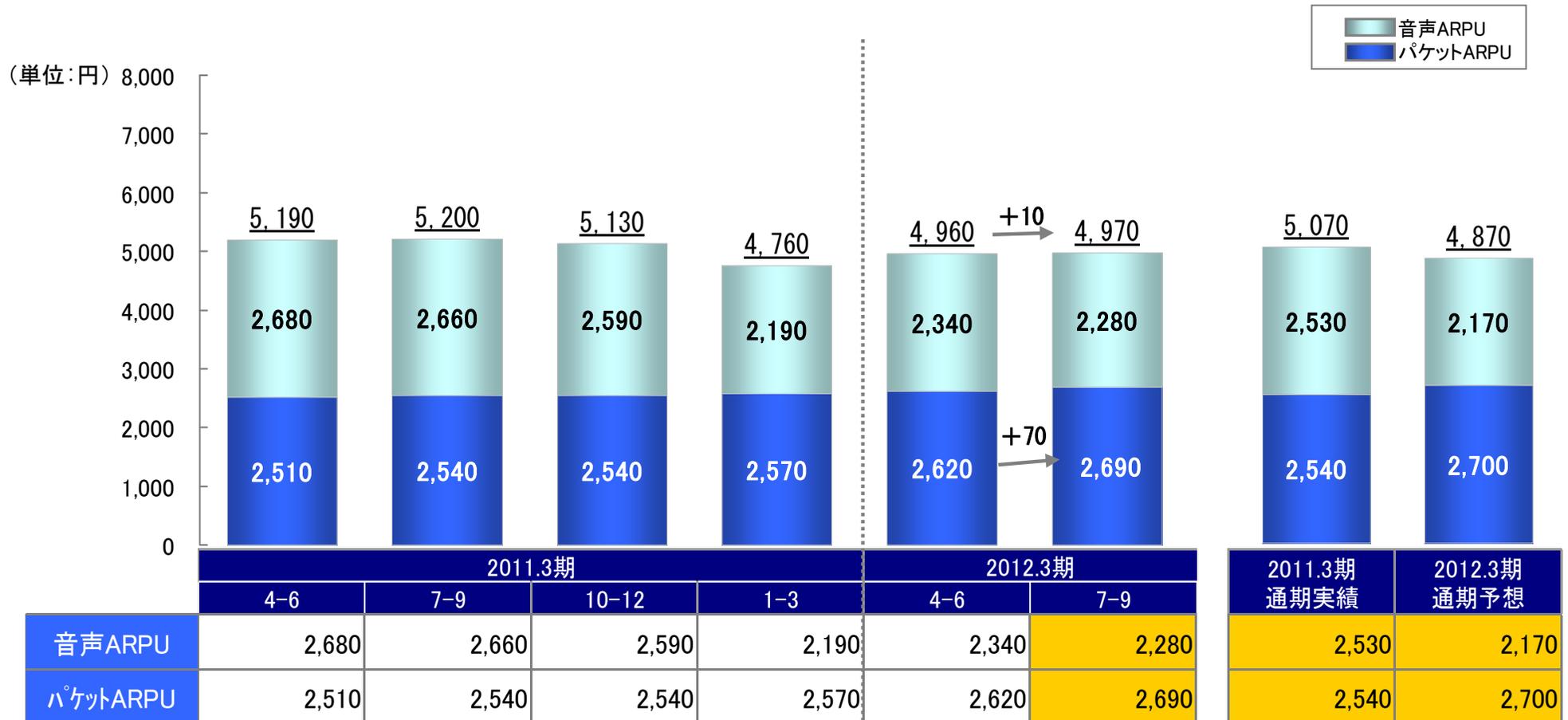
※1 フレッツ光は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ光ネクストを含めて記載しております。なお、各ARPUの算定方法等については、26ページをご参照下さい。

※2 ARPU算定上の契約数から、東日本大震災の影響によりお客様に料金請求を行っていない契約数を差し引いたうえで算定した場合の参考値。

移動ブロードバンド（FOMA、Xi）※のARPU



- スマートフォンの販売台数増によりパケットARPUが増加。
- 音声含む総合ARPUも第1四半期で増加に転じ、第2四半期も引き続き増加基調。



※ 通信モジュールサービスは、ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

※ movaサービスは、終了予定である2012年3月末まで、ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めております。
 なお、各ARPUの算定方法等については、26ページをご参照下さい。

映像サービスの契約数

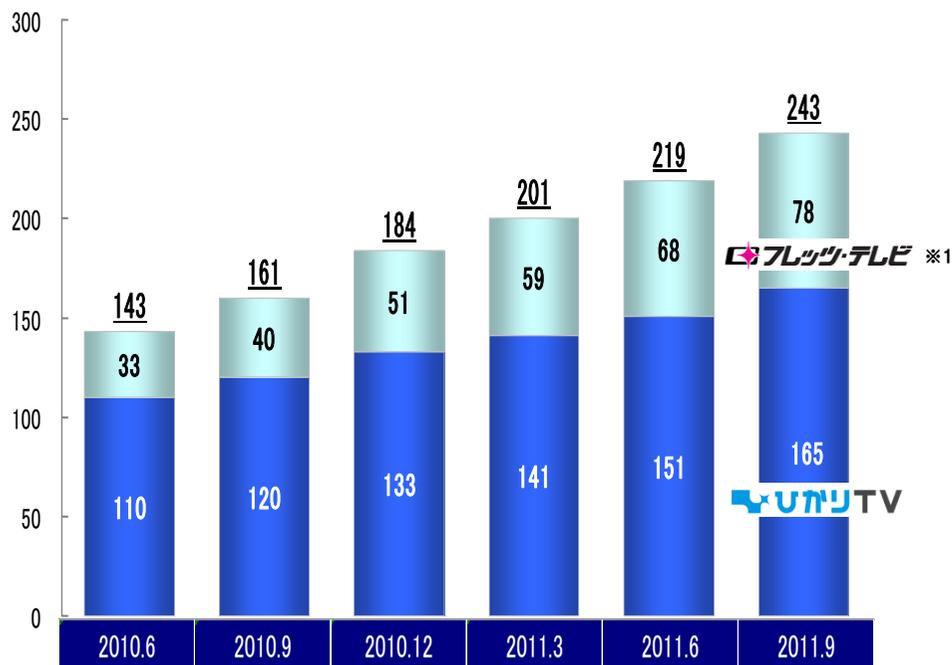
主に固定ブロードバンド向け

- 上期は、マルチスクリーン視聴などの新たなサービスを提供し、9月末の契約数は243万契約まで増加。
- 今後は、引き続きコンテンツやサービスの拡充に取組み、顧客基盤の拡大を図る。

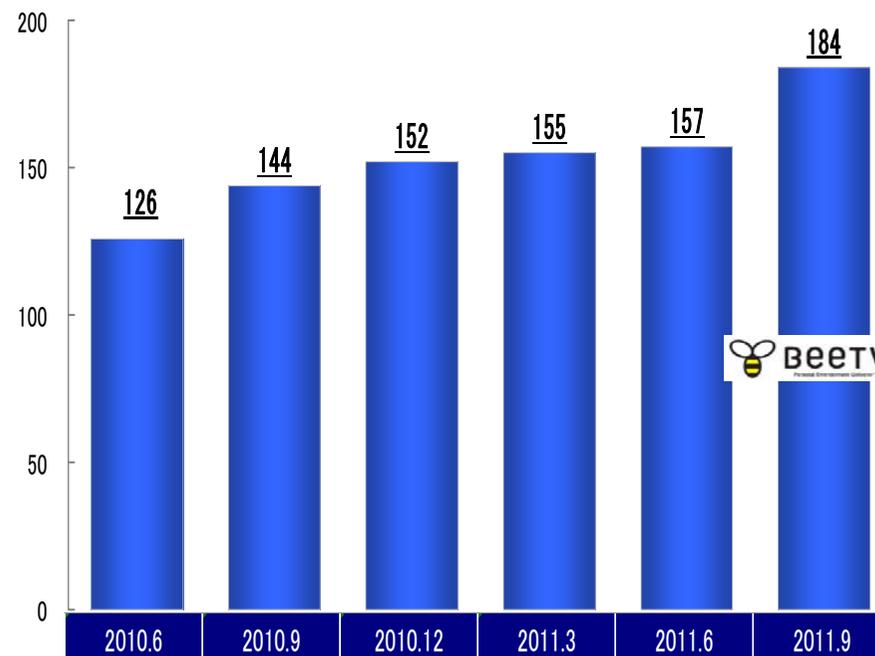
主に移動ブロードバンド向け

- 上期は、スマートフォン向けにも「BeeTV※2」を提供し、9月末の契約数は184万契約まで増加。
- 今後は、「dマーケット※3」「NOTTV※4」等の新たなサービスの提供により、更なる需要喚起を図る。

(単位: 万契約)



(単位: 万契約)

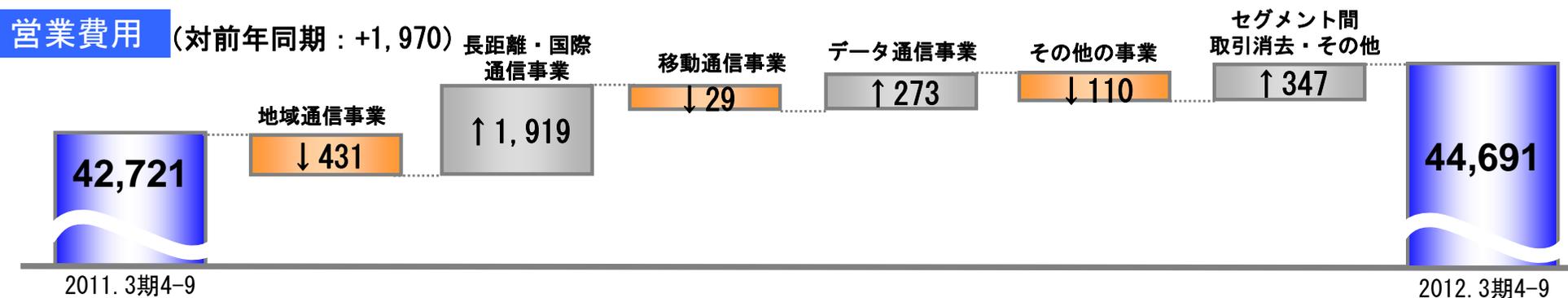
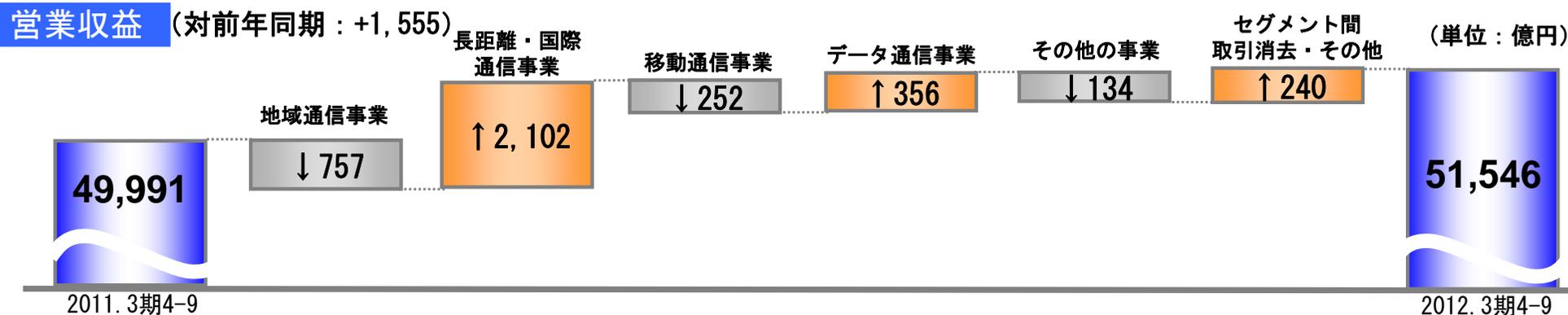


※1. 「フレッツ・テレビ」はNTT東西の「フレッツ・テレビ伝送サービス」の契約と、オプティキャストの放送サービス「オプティキャスト施設利用サービス」の契約により提供されるサービスです。
 ※2. 「BeeTV」はエイベックス・エンタテインメントとNTTドコモが共同出資するエイベックス通信放送が提供するサービスです。
 ※3. 「dマーケット」はNTTドコモがスマートフォン向けに提供するコンテンツマーケットであり、「VIDEOストア」「BOOKストア」「MUSICストア」「アプリ&レビュー」の4カテゴリで構成されます。
 ※4. 「NOTTV」はNTTドコモが出資するmmbiが提供するサービスです。

財務状況

セグメント別の状況

- 地域通信事業：音声収入の減等により、減収・減益。
- 長距離・国際通信事業：ディメンションデータの子会社化等により、増収・増益。
- 移動通信事業：音声収入の減等により、減収・減益。
- データ通信事業：連結子会社拡大により、増収・増益。



営業利益 (対前年同期：▲415)

2011.3期 4-9実績	地域通信 事業	長距離・国際 通信事業	移動通信 事業	データ通信 事業	その他の 事業	セグメント間 取引消去・その他	2012.3期 4-9実績
7,270	↓ 326	↑ 183	↓ 223	↑ 83	↓ 25	↓ 107	6,855

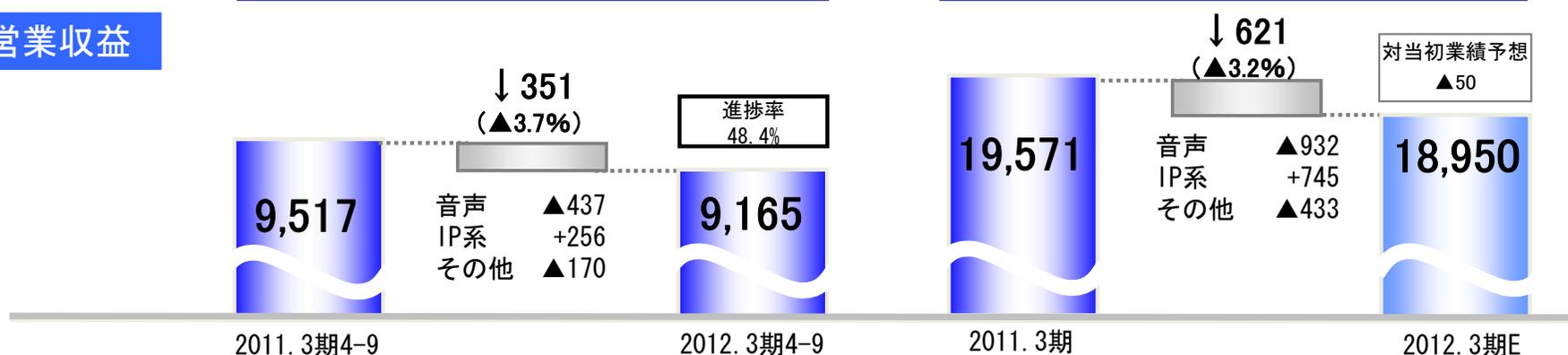
- 震災による減収影響やIP系収入の伸びの鈍化等により、減収減益。
- 業績予想は、営業収益を対当初業績予想▲50億円とし、営業利益は当初業績予想を据え置く。

(単位：億円)

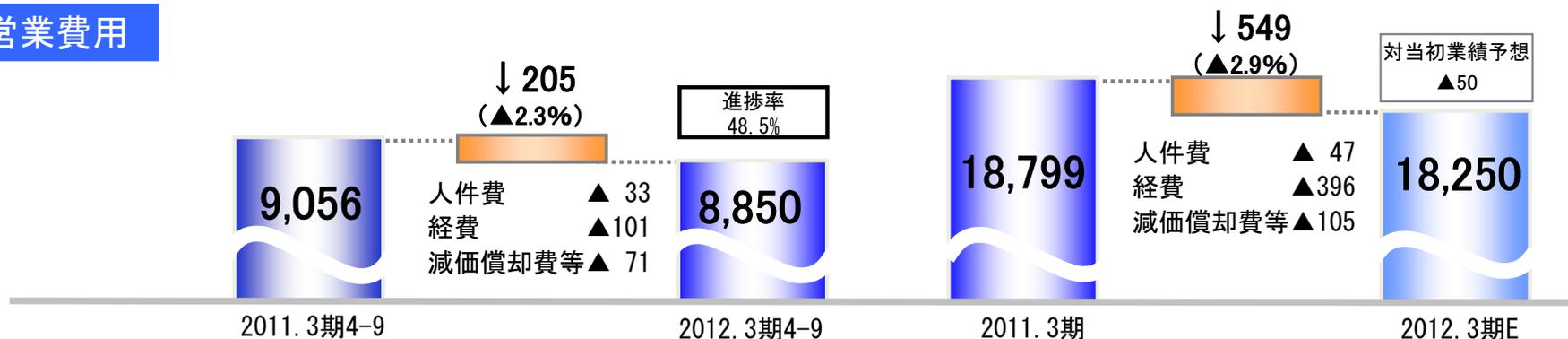
第2四半期実績 (累計)

2012.3 業績予想

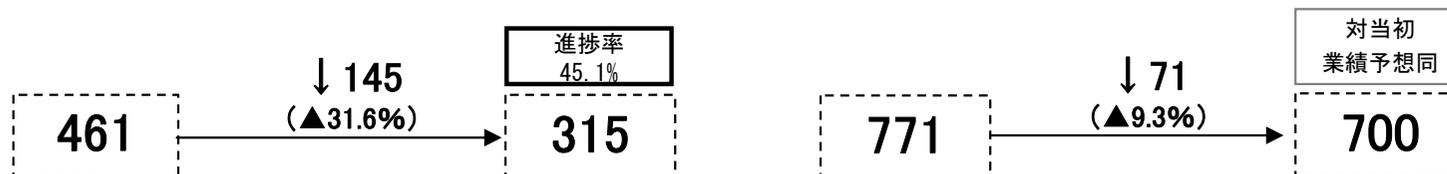
営業収益



営業費用



営業利益



- IP系収入の伸びの鈍化等により、減収減益。
- 業績予想は、営業収益を対当初業績予想▲170億円とし、営業利益は当初業績予想を据え置く。

(単位：億円)

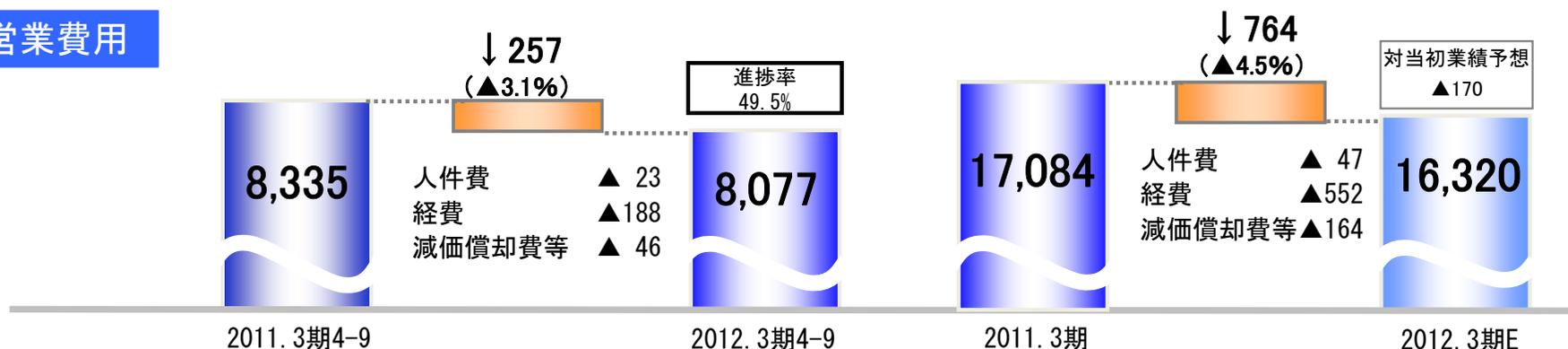
第2四半期実績 (累計)

2012.3 業績予想

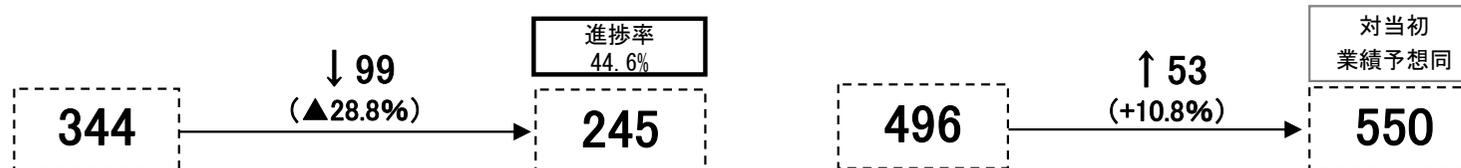
営業収益



営業費用



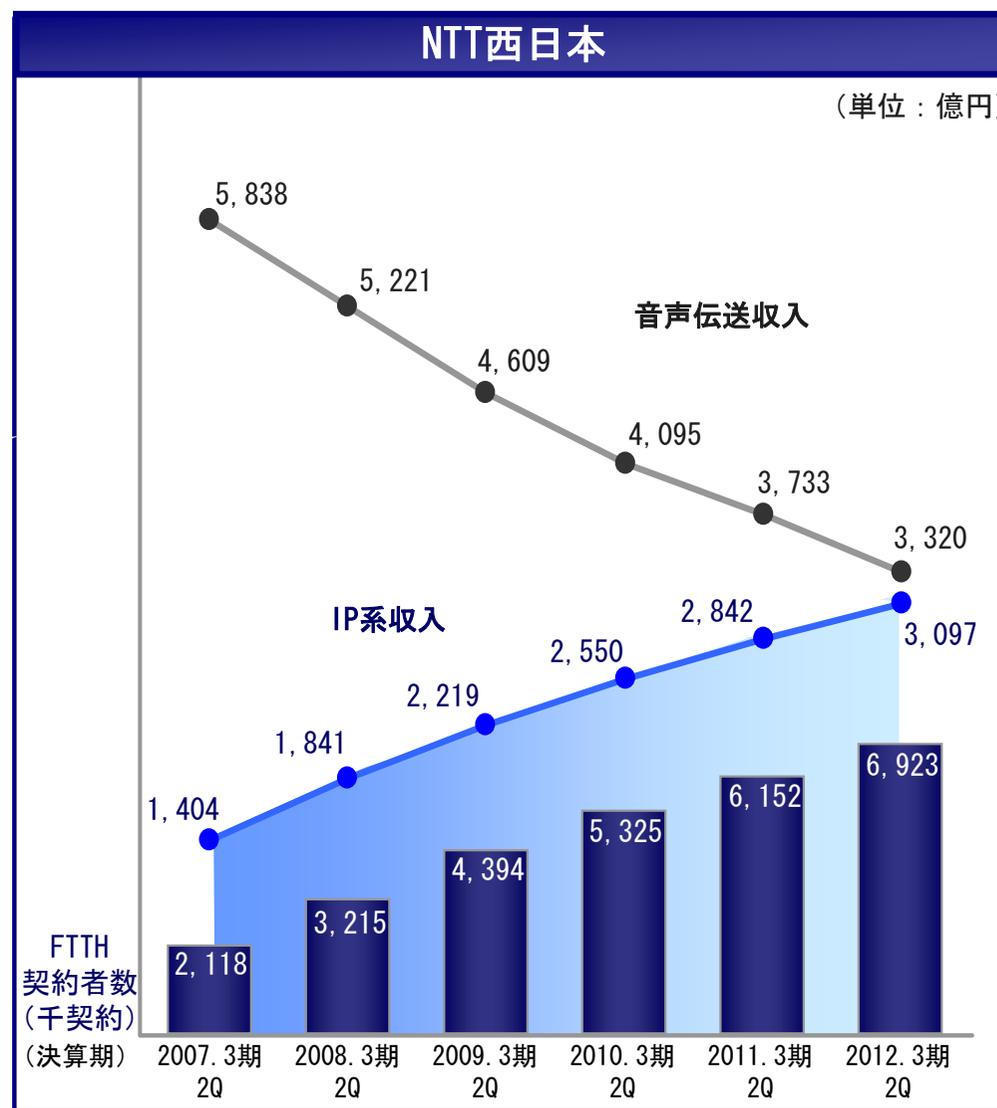
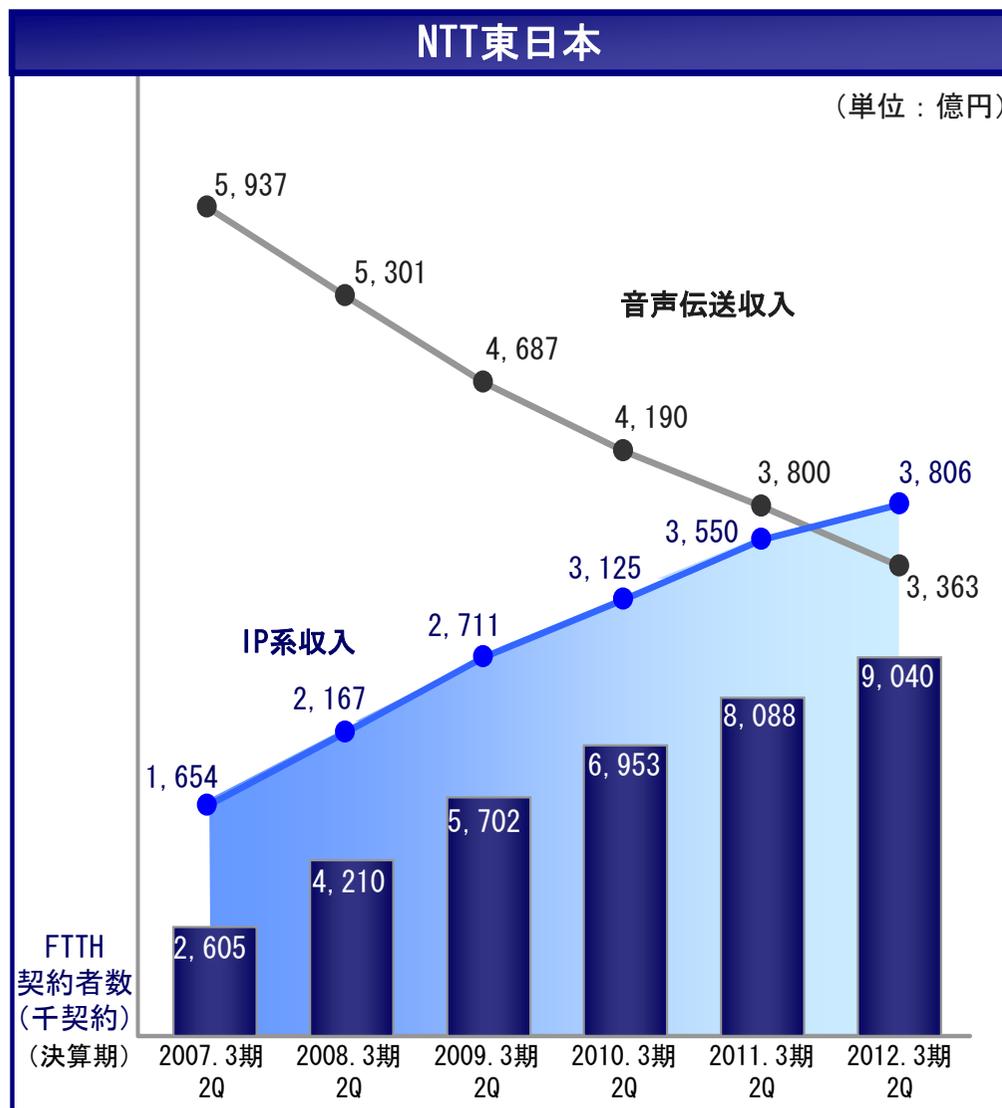
営業利益



東西会社のIP系収入と音声伝送収入

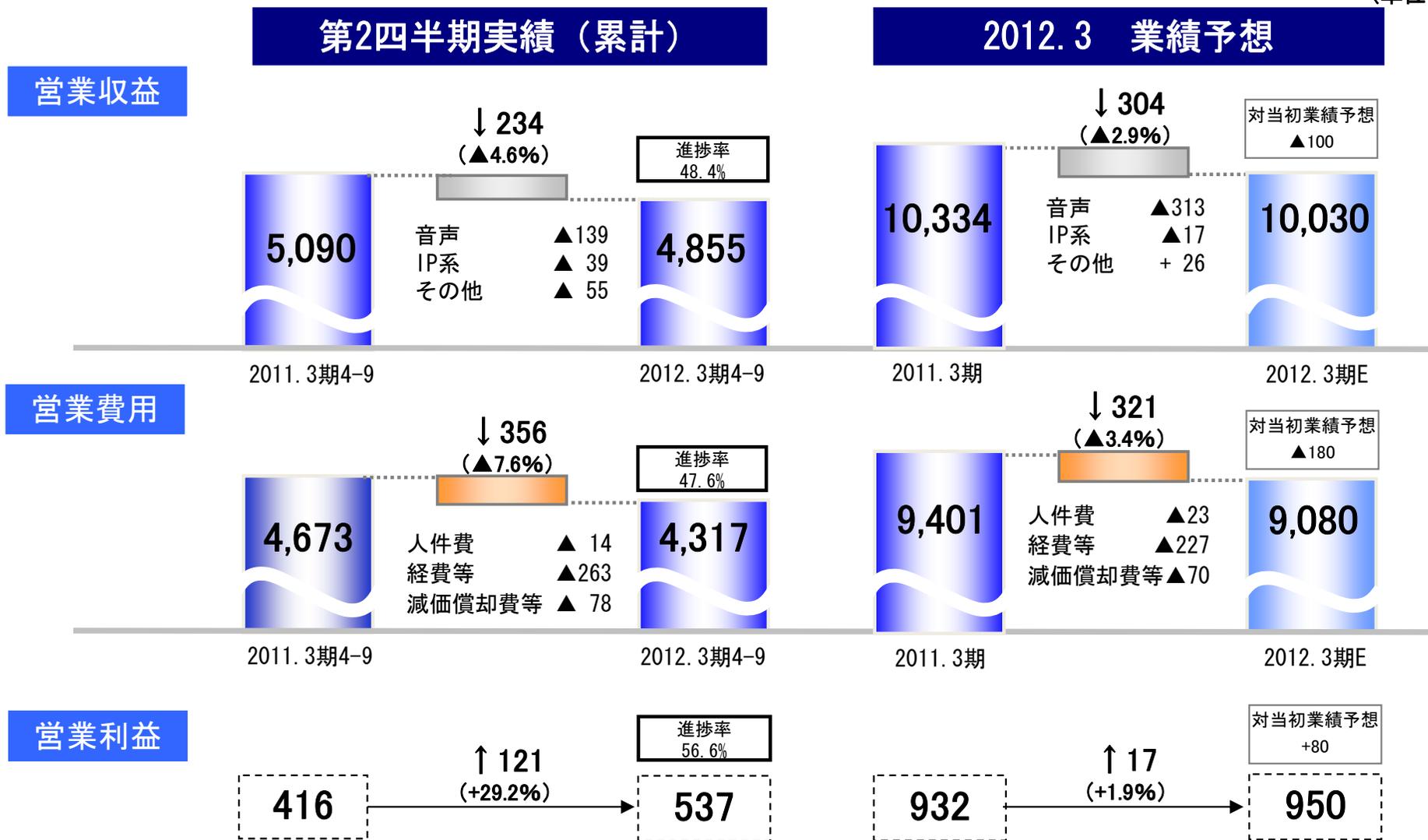


NTT東日本において、第2四半期決算では初めてIP系収入が音声伝送収入を逆転。



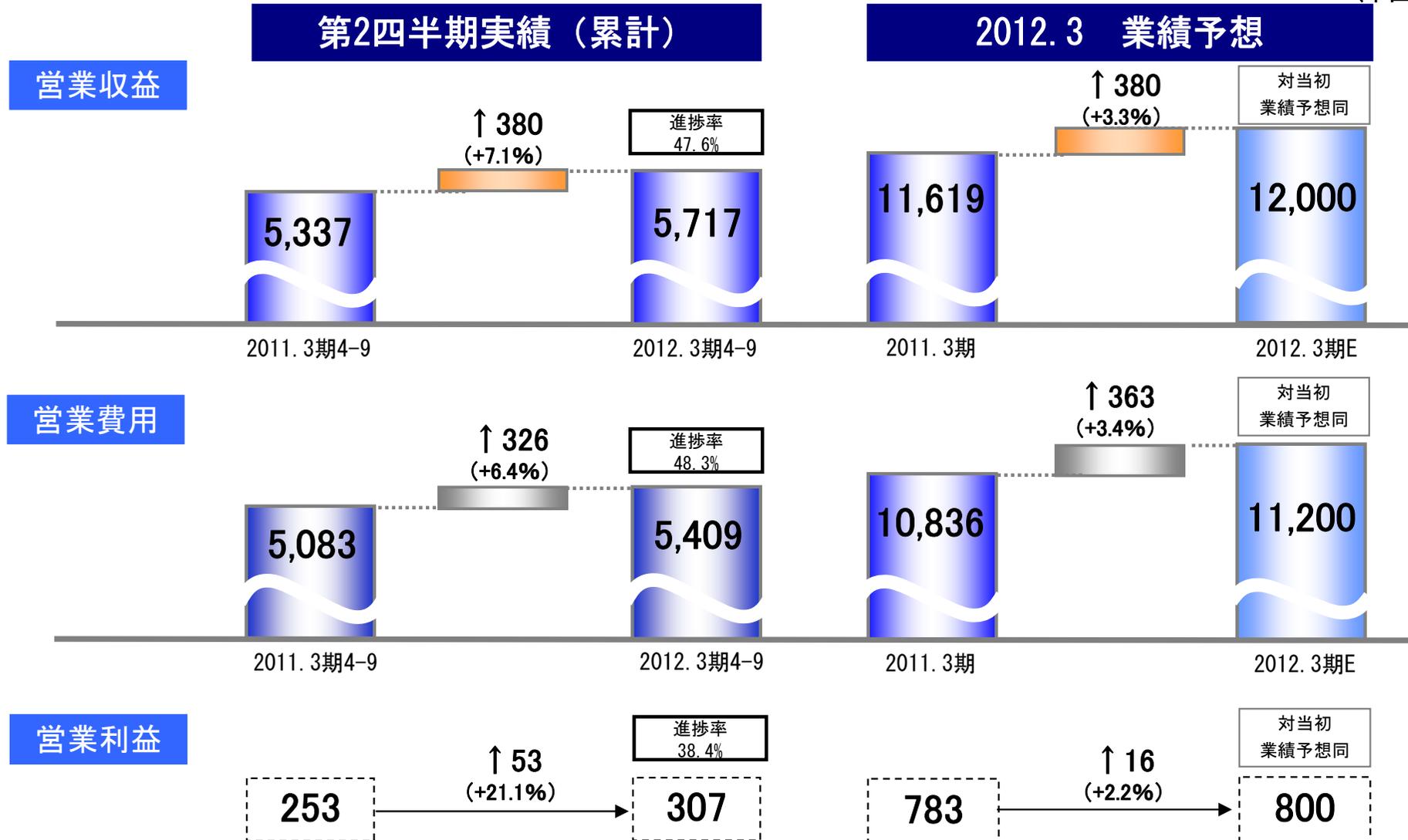
- 減収傾向が継続する中、徹底したコスト削減等により、減収増益。
- 業績予想は、営業収益を対当初業績予想▲100億円とするが、営業利益は+80億円上方修正。

(単位：億円)



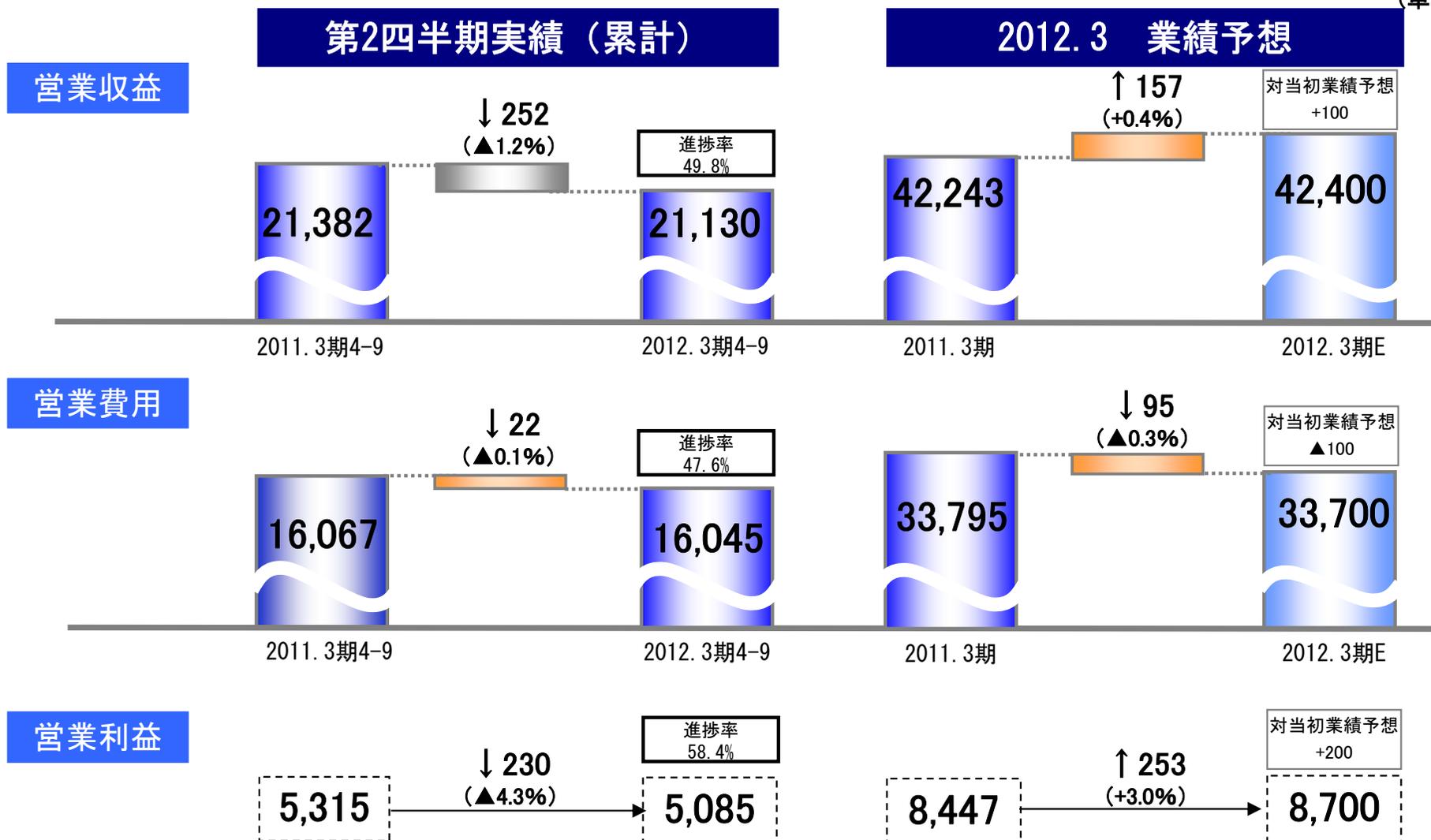
- 第2四半期実績は、連結拡大による増収、原価率の改善等により増収増益。
- 下期に向けて景気減速や円高影響等の不透明な部分があり、業績予想は据え置く。

(単位：億円)



- 第2四半期実績は、昨年度に実施したポイント・故障修理制度見直し影響を除けば、実質的には増益。
- 好調なスマートフォン販売とパケットARPUの増を踏まえ、業績予想を上方修正。

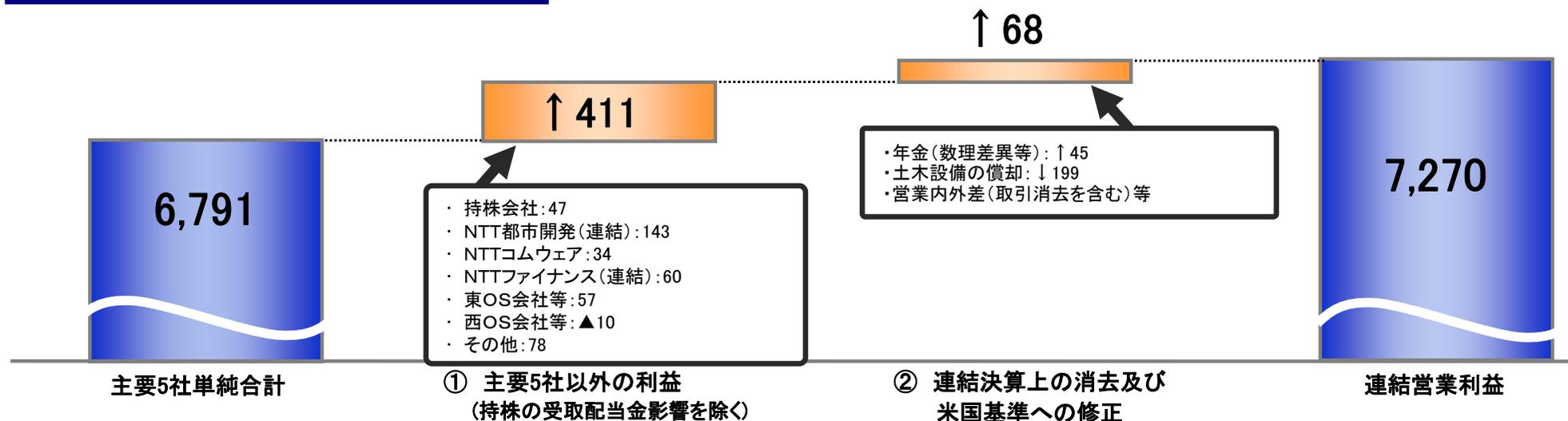
(単位：億円)



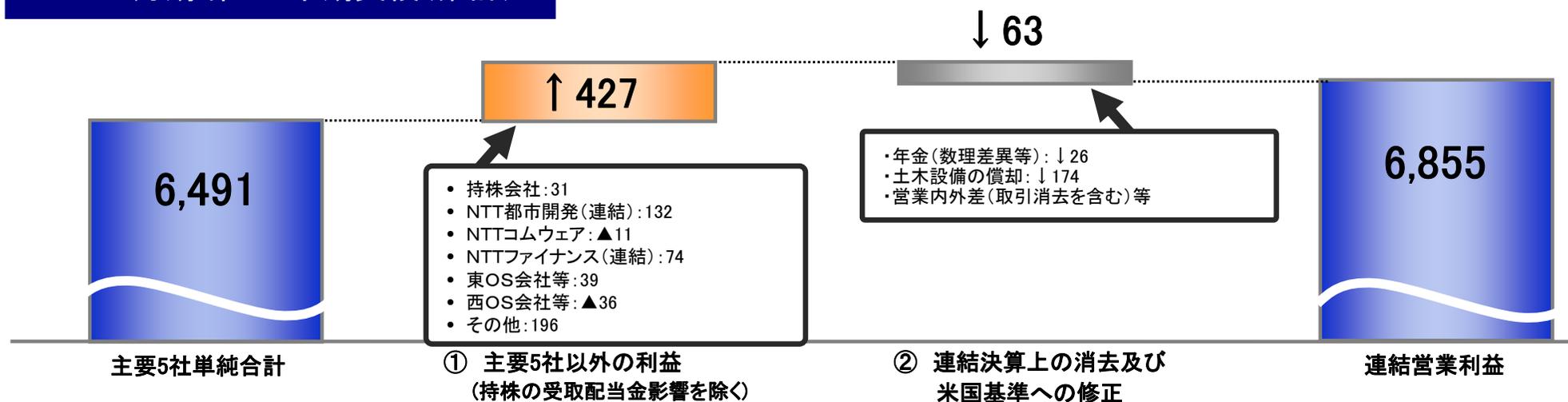
連結営業利益と主要5社営業利益単純合計の差の内訳

2011.3月期 第2四半期実績(累計)

(単位：億円)



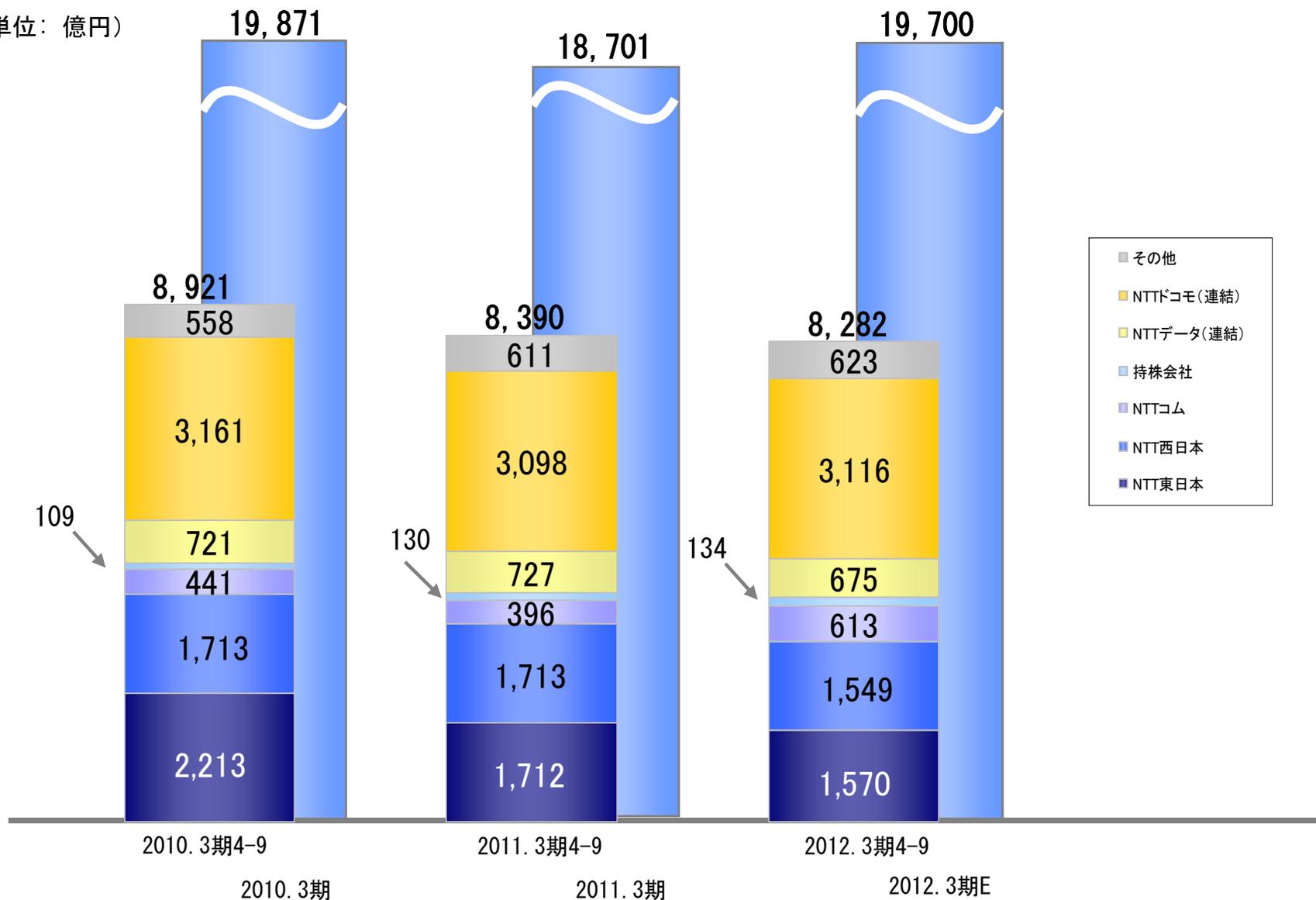
2012.3月期 第2四半期実績(累計)



設備投資額の状況

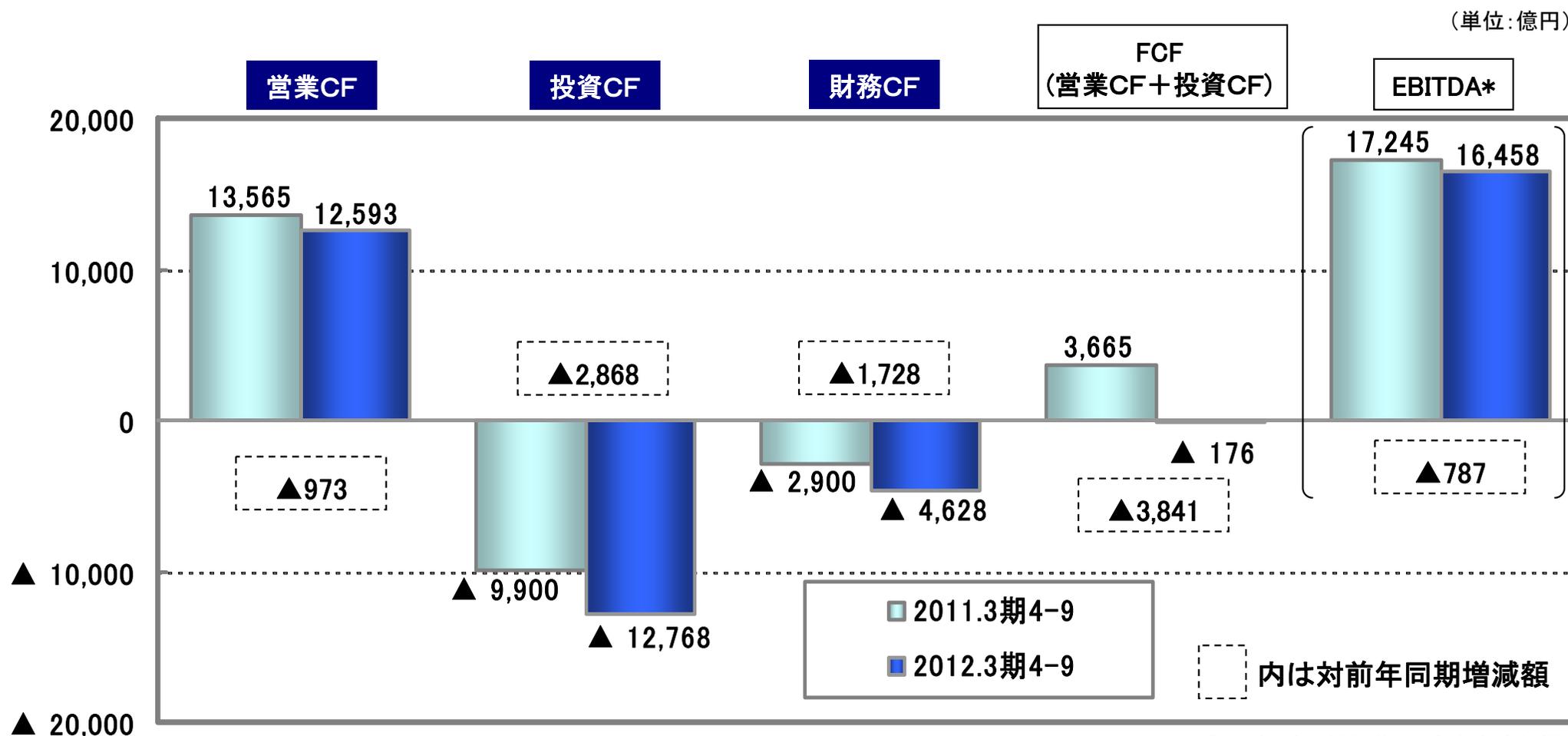
- 第2四半期の連結設備投資は、前年とほぼ同水準の進捗。
- 業績予想は、対当初業績予想+200億円の1兆9,700億円の見込み。

(単位：億円)



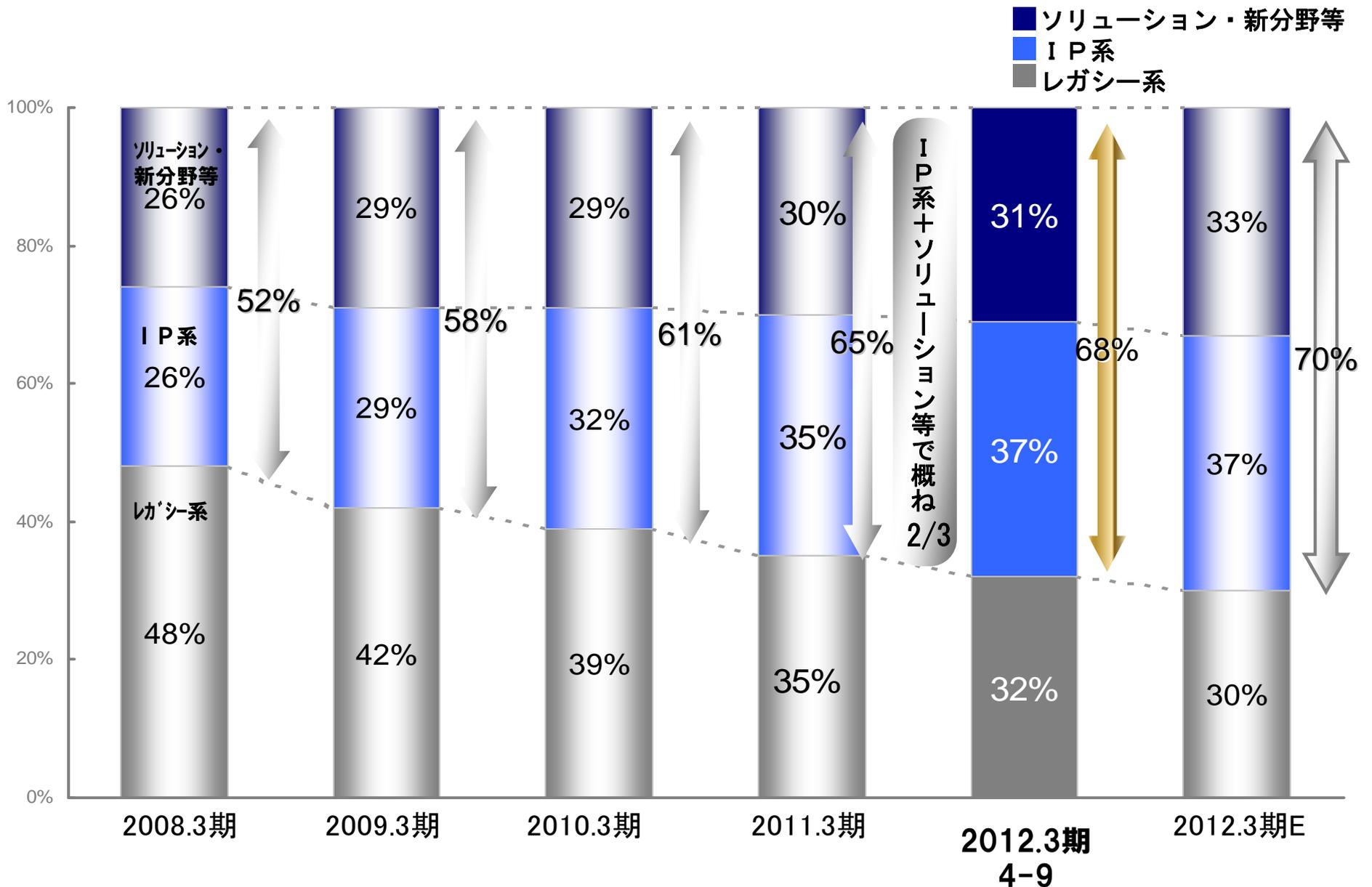
連結キャッシュ・フローの状況

- 営業CFは、四半期純利益の減少、買掛金等の支払の増加などにより減少。投資CFは、3ヶ月を超える資金運用の増加により、支出が増加。
- FCFはマイナスとなっているが、資金運用の影響を除けば3,000億円程度のプラス。
- 財務CFは、自己株式取得の実施により、支出が増加。



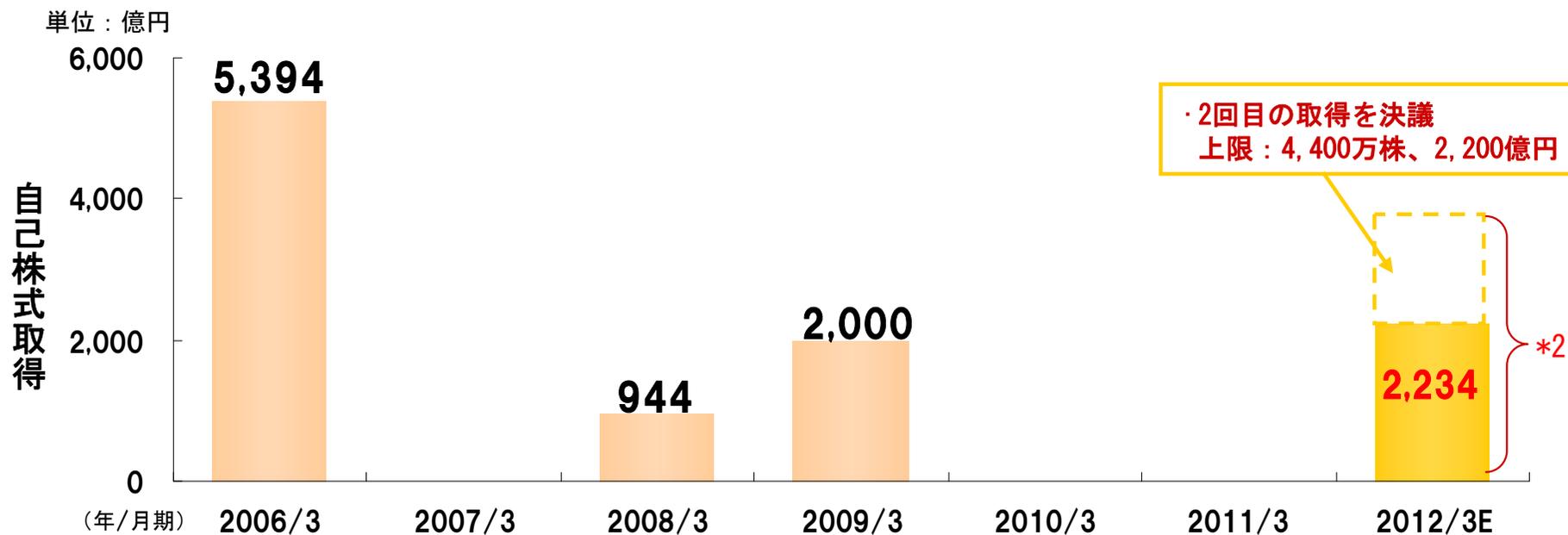
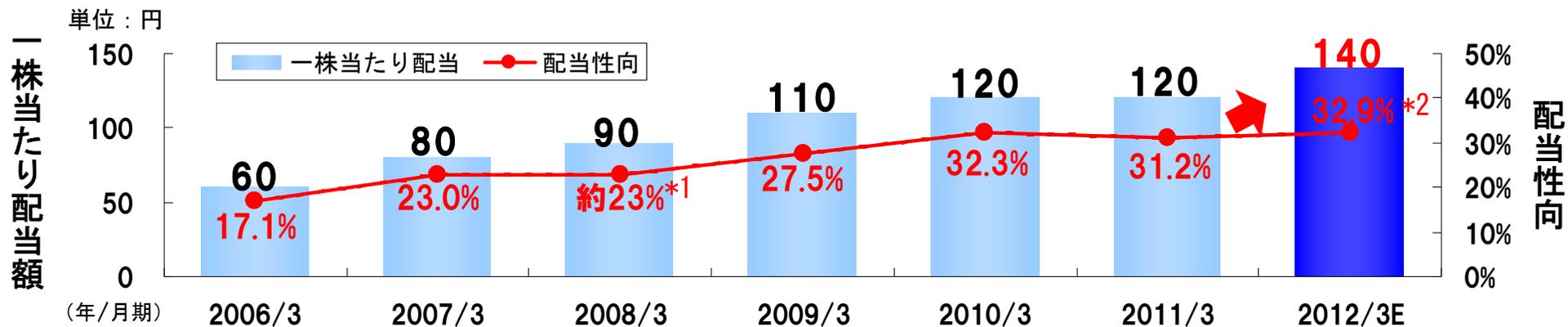
*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 固定資産除却損

連結売上高の構成比イメージ



Appendices

株主還元

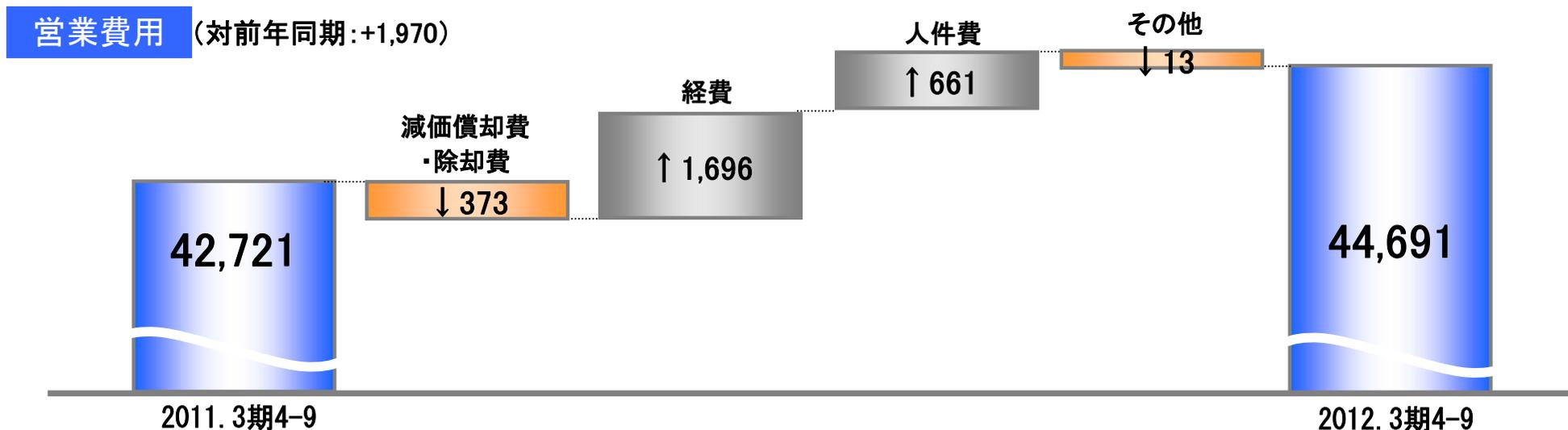
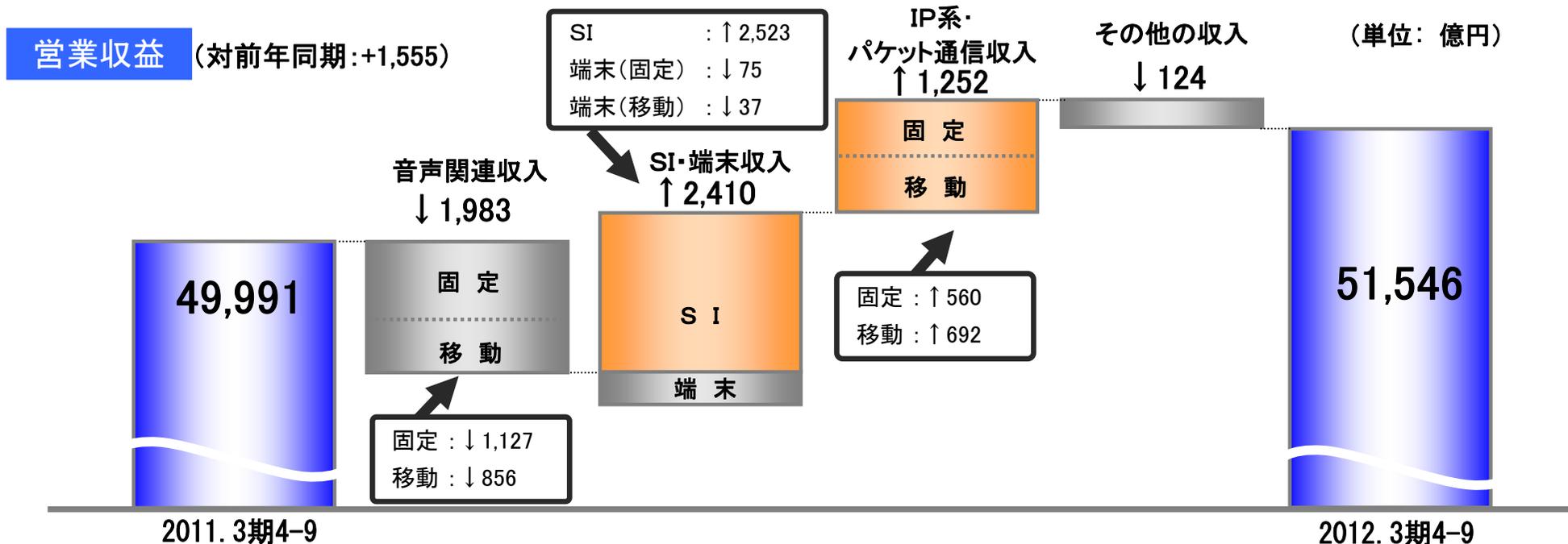


*1 代行返上等の特殊要因を除く。

*2 政府売却予定として予算に計上されている9,933万株を全て買い取り、自己株式とする前提。

(注) 2010年3月末の保有自己株式(2億5千万株)を全株消却する方針を決議(2010年5月)し、①2010年11月に2分の1を消却、②2011年11月に残り2分の1を消却予定。

2012年3月期第2四半期決算 科目別の状況



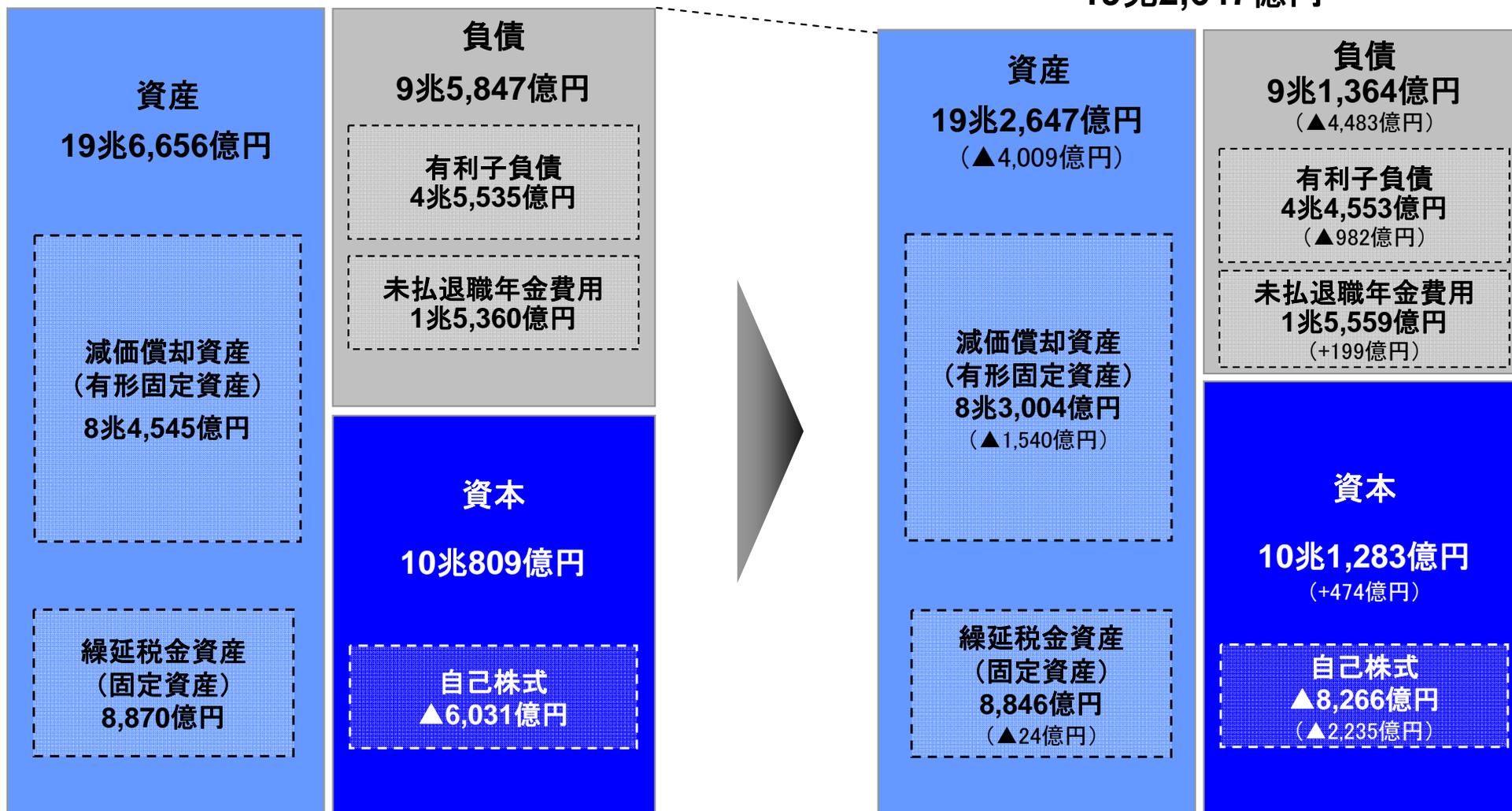
連結貸借対照表の状況

2011年3月期末

2012年3月期第2四半期末

19兆6,656億円

19兆2,647億円



連結及び主要な会社別の2012年3月期第2四半期決算の概況

(単位: 億円)

区分	※1 NTT連結 〈米国基準〉	NTT(持株) 〈日本基準・単独〉	NTT東日本 〈日本基準・単独〉	NTT西日本 〈日本基準・単独〉	NTTコム 〈日本基準・単独〉	NTTデータ 〈日本基準・連結〉	NTTドコモ 〈米国基準・連結〉
	営業収益	51,546	2,497	9,165	8,323	4,855	5,717
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	1,555 (3.1%)	187 (8.1%)	▲ 351 (▲3.7%)	▲ 357 (▲4.1%)	▲ 234 (▲4.6%)	380 (7.1%)	▲ 252 (▲1.2%)
営業費用	44,691	716	8,850	8,077	4,317	5,409	16,045
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	1,970 (4.6%)	6 (0.8%)	▲ 205 (▲2.3%)	▲ 257 (▲3.1%)	▲ 356 (▲7.6%)	326 (6.4%)	▲ 22 (▲0.1%)
営業利益	6,855	1,781	315	245	537	307	5,085
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 415 (▲5.7%)	181 (11.3%)	▲ 145 (▲31.6%)	▲ 99 (▲28.8%)	121 (29.2%)	53 (21.1%)	▲ 230 (▲4.3%)
※2 税引前利益	6,817	1,772	436	311	643	287	5,119
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 286 (▲4.0%)	208 (13.3%)	▲ 132 (▲23.2%)	▲ 136 (▲30.5%)	137 (27.0%)	56 (24.6%)	▲ 151 (▲2.9%)
四半期純利益	※3 2,964	1,764	267	236	383	124	※4 2,990
対前年同期増減額 (対前年同期増減率)	▲ 188 (▲6.0%)	211 (13.6%)	▲ 95 (▲26.4%)	▲ 101 (▲29.9%)	119 (45.5%)	3 (2.8%)	▲ 107 (▲3.5%)

※1 連結子会社 776社 持分法適用会社 98社

※2 NTT(持株)～NTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

※3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

※4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

ARPUの算定方法等

1契約当たりの月間平均収入（ARPU）は、契約者1人当たりの平均的な月間営業収益を計るために使われます。固定通信事業の場合、ARPUは、地域通信事業の営業収益のうち、加入電話、INSネット、及びフレッツ光の提供により毎月発生する収入を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。移動通信事業の場合、ARPUは、移動通信事業の営業収益のうち、携帯電話（FOMA）と携帯電話（mova）及び携帯電話（Xi）のサービス提供により毎月発生する収入（基本使用料、通信料/通話料）を、当該サービスの稼働契約数で除して計算されます。これら数字の計算からは、各月の平均的な利用状況を表さない端末機器販売、契約事務手数料、ユニバーサルサービス料などは除いています。こうして得られたARPUは各月のお客様の平均的な利用状況を把握する上で有用な情報を提供するものであると考えております。尚、ARPUの分子に含まれる収入は米国会計基準による連結決算値を構成する財務数値により算定しております。

①NTT東日本及びNTT西日本のARPUは、以下の4種類に分けて計算をしております。

- ・ 音声伝送収入（IP系除く）に含まれる加入電話とINSネットの基本料、通信・通話料、及びIP系収入に含まれるフレッツADSL、フレッツISDNからの収入に基づいて計算される固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）。
- ・ 加入電話の基本料、通話料、フレッツADSLからの収入に基づいて計算される加入電話ARPU。
- ・ INSネットの基本料、通信・通話料、フレッツISDNからの収入に基づいて計算されるINSネットARPU。
- ・ IP系収入に含まれるフレッツ光、フレッツ光のオプションサービスからの収入、ひかり電話における基本料・通信料・機器利用料、及び附帯事業営業収益に含まれるフレッツ光のオプションサービス収入に基づいて計算されるフレッツ光ARPU。
 - － フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含めて記載しております。

②固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU、INSネットARPU及びフレッツ光ARPUには相互接続通話料が含まれておりません。

③固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）、加入電話ARPU及びINSネットARPU算定上の契約数は、各サービスの契約数であります。

④固定電話総合ARPU（加入電話+INSネット）及びINSネットARPUの算定上、INSネット1500の契約数は、チャンネル数、伝送速度、回線使用料（基本料）いずれについてもINSネット64の10倍程度であることから、INSネット1500の1契約をINSネット64の10倍に換算しております。

⑤フレッツ光ARPU算定上の契約数は、フレッツ光の契約数（フレッツ光はNTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト及びフレッツ 光ライト、NTT西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン及びフレッツ 光ネクストを含む）であります。

⑥NTTドコモのARPUは、以下の3種類に分けて計算をしております。

- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA+mova+Xi）＝ 音声ARPU（FOMA+mova+Xi）＋ パケットARPU（FOMA+mova+Xi）
 - － 音声ARPU（FOMA+mova+Xi）は、FOMA及びmovaサービスによる音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA+mova+Xi）は、FOMA、mova及びXiサービスによるパケットサービスの基本使用料と通信料の収入に基づいております。
 - － Xiサービスは平成23年9月30日現在、音声サービスを提供していないため、音声ARPU（FOMA+mova+Xi）算定上の収入には含まれず、契約数のみに含まれております。
- ・ 携帯電話総合ARPU（FOMA）＝ 音声ARPU（FOMA）＋ パケットARPU（FOMA）
 - － 音声ARPU（FOMA）は、音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（FOMA）は、パケットサービスの基本使用料と通信料の収入に基づいており、いずれもFOMAサービスによるものです。
- ・ 携帯電話総合ARPU（mova）＝ 音声ARPU（mova）＋ パケットARPU（mova）
 - － 音声ARPU（mova）は、音声サービスの基本使用料と通話料の収入に基づいており、また、パケットARPU（mova）は、パケットサービスの基本使用料と通信料の収入に基づいており、いずれもmovaサービスによるものです。

⑦通信モジュールサービス、電話番号保管サービス及びメールアドレス保管サービスは、携帯電話総合ARPUの算定上、収入、契約数ともに含めておりません。

⑧NTT東日本及びNTT西日本におけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第2四半期累計（4月～9月）実績=4月～9月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 通期実績=4月～3月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 通期予想（見直し前）=平均稼働契約数{(前期末契約数+今期末予想契約数)/2}×12
- ・ 通期予想=平均稼働契約数{(前期末契約数+今期末予想契約数)/2}×12

⑨NTTドコモにおけるARPU算出時の稼働契約数の計算式は以下のとおりであります。

- ・ 第1四半期（4月～6月）実績=4月～6月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第2四半期（7月～9月）実績=7月～9月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第3四半期（10月～12月）実績=10月～12月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第4四半期（1月～3月）実績=1月～3月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 第2四半期累計（4月～9月）実績=4月～9月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 通期実績/予想（見直し前、見直し後）=4月～3月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計
- ・ 通期実績/予想=4月～3月までの各月稼働契約数{(前月末契約数+当月末契約数)/2}の合計